



創誠健和



旭川中学校 学校通信 2月号

令和7年2月28日発行

小中連携・一貫教育を通して

旭中生に育みたい資質・能力

家庭・地域とゴールを共有して子どもを育成する

第3回あさひやま学校運営協議会が20日(木)に開催されました。地域評価の中で、委員さんから「小中連携・一貫教育の推進状況はどういう状態がゴールなのか?」という質問をいただきました。

下表は、小中9年間を通し、発達段階(学年)に応じた育てたい児童生徒の姿をまとめたものです。注目してほしい部分は、二重線の中です。旭中生の最終的な『めざす生徒の姿』と『育みたい4つの力』を示しています。全ての教育活動は下記の目標を実現するために取り組んでいます。さて、中学3年生の皆さんは、4つの力が身に付いているはずですが、どうですか?1・2年生も自分の達成状況を振り返ってみましょう。

令和7年度では、家庭・地域ともゴールの姿を共有し、より連携を密にしながら教育活動を展開していきます。



旭川小学校・旭川中学校 目指す子どもの姿 合い言葉～つながる～				
あさひやまコミュニティ・スクール 共に学び 共に育つ				
小学校 教育目標	筋道をたてて考え 自分で判断できる子ども	強い意志と美しく 豊かな心を持つ子ども	みんなで手をつなぎ 未来を築く子ども	常にからだをきたえる たくましい子ども
中学校 教育目標	自ら学び、知性豊かな人になろう	美を愛し、豊かな心を持つ人になろう		健康な身体を養い、実行力のある人になろう
小 学 校		確かな学力	豊かな心	夢・自己有用感
		自ら進んで学ぶ子	自他のよさを認められる子	目標や希望をもって取り組む子
	低 学 年	めあてを理解し自ら問題を解こうとする子	あいさつができ友だちと仲良くしようとする子	自分のよさに気付き目標をもって行動する子
	中 学 年	課題を見付け進んで考え解決しようとする子	進んで挨拶し相手のことを考えて行動しようとする子	個性伸長を図り目標達成に向けて頑張ろうとする子
	高 学 年	自ら課題をもち仲間とともに多面的に考え追求しようとする子	時と場に応じた挨拶ができ互いを思いやり温かい行動をしようとする子	自他を知り目標に向かい見通しをもって努力しようとする子
中 学 校		何事にも主体的・意欲的に挑むための活きた知性をもつ生徒	広い視野に立ち他者を思いやりながら行動できる心豊かな生徒	夢や希望の実現に向けてよりよい生き方を目指す生徒
育 み た い 力		探究する力 根拠を明確にして自分の考えを、説明することができる。	気遣う力 他者の利得や幸福を考えて行動することができる。	貢献力 自分が集団や社会の中で、「役立っている」と感じ取ることができる。
				やり抜く力 目的を達成するために、あきらめずに粘り強く行動することができる。

令和6年度 学校評価の結果

昨年度比：○**向上**・▲**低下**（単位％）

	質問事項	生徒肯定的評価	保護者肯定的評価
確かな学力	課題解決に向けて、自ら進んで意欲的に学んでいる	○ 82.8	▲ 67.9
	「学習のきまり」を守り、集中して学習している	▲ 89.5	▲ 65.7
	先生は、分かりやすい授業をしている	▲ 91.4	▲ 73.0
	家庭では誰かに言われなくても、自分から進んで学習している	72.4	▲ 49.6
豊かな心	学校では、互いに過ごしやすい人間関係をつくることができ、協力して物事に取り組んでいる	▲ 88.3	▲ 85.4
	時と場に応じた適切な言葉遣いや進んで挨拶ができる	○ 94.5	▲ 85.4
	学校生活の決まり、交通ルール、公園・施設などのきまりを守って生活している	▲ 96.9	▲ 97.1
	家庭ではテレビやゲーム、ネットの使い方の約束を決めて、守っている	▲ 74.3	▲ 51.8
	学校は、いじめや友人間のトラブルなど、様々な問題に対して、丁寧に対応してくれる	▲ 84.7	▲ 84.7
	いじめは絶対に許せないと思う	100	98.6
健やかな体	どんな場面でも、あきらめずに最後までやり抜こうと努力している	○ 88.3	▲ 77.3
	災害時や不審者対応など、身近にある危険を回避する意識をもち、自分の命や体を守る行動をとることができる	91.4	▲ 83.9
	毎日、運動をしている	○ 71.8	○ 59.8
	学校は清潔で、清掃活動も行き届き、過ごしやすい	○ 86.5	▲ 94.2
	手洗いや消毒などして、感染症予防ができています	○ 95.1	▲ 75.2
	生活リズムを整え、健康な体を目指している	○ 82.9	▲ 67.8
夢・自己有用感	将来の夢や希望に向かって、学習や行事・部活動などに取り組む際には、自ら目標を立て、達成に向け努力している	○ 87.1	○ 73.8
	自分のよさや得意なことを理解し、様々な活動において、自分の良さや能力を生かして、みんなの役に立てている	○ 74.9	▲ 78.1
	先生方は、自分のよさや可能性について話したり、努力したことやできたことを褒めたりする	○ 90.2	83.2
	学校が楽しいと思う	○ 89.0	▲ 80.3
	学校では、幸せな気持ちで過ごしている	86.5	
連携	地域の人と関わったり、地域のために貢献したりする学習活動を通して、東旭川のよさや魅力を感じることができる	○ 87.1	▲ 78.1
	学校は、小学校との交流活動を実施している	○ 91.4	○ 88.3
	小学生の手本となることを意識して生活している	○ 84.0	○ 69.3
総合評価		86.7	73.7

生徒の評価から「健やかな体」「夢や自己有用感」「連携」の3視点が大きく向上しています。一方で「確かな学力」「豊かな心」の2視点が低下している状況です。総合評価としては、24項目平均（生徒87％・保護者74％）であることから、子どもたちは概ね活躍できている状況にあると捉えることができます。来年度に向け、さらに教育活動を工夫・改善するとともに、PTAと連携しながら、保護者がお子様の様子を知ることができる機会を増やし、子どもたちの健全育成を共に進めて参ります。